

	5月12日(木) 本郷・大曾根地区	5月13日荒川地区	5月13日小白浜・片岸地区	5月13日 大石地区	5月14日尾崎白浜
出席	市:市長以下、 地元:町内会長、住民60名 マスコミ:数社(TVカマ4台)	市:市長以下 地元:町内会長、住民約40名 マスコミ:1社(FM岩手)	市:市長以下 地元:町内会長、住民約60名 マスコミ:FMラジオ1社	市:市長以下 地元:町内会長、住民約30名 マスコミ:2社(FM岩手、FNN記者)	市:市長以下 地元:町内会長、住民約50名
市から	・5-6月粗々な復興ビジョン作成 ・8-9月復興計画策定、10月から実施 ・住民意見を踏まえ国県に要望出す。	・5-6月粗々な復興ビジョン作成 ・8-9月復興計画策定、10月から実施 ・住民意見を踏まえ国県に要望出す。	・5-6月粗々な復興ビジョン作成 ・8-9月復興計画策定、10月から実施 ・住民意見を踏まえ国県に要望出す。	・5-6月粗々な復興ビジョン作成 ・8-9月復興計画策定、10月から実施 ・住民意見を踏まえ国県に要望出す。	・5-6月粗々な復興ビジョン作成 ・8-9月復興計画策定、10月から実施 ・住民意見を踏まえ国県に要望出す。
復旧仮設等に関する意見	・早期の瓦礫撤去(河川、水門他) ・岸壁の早期復旧。 ・防災無線の高地移転、箇所数増 ・仮設住宅の増強。 ・下水の早期復旧 ・養殖等(ワカメ・昆布・ホタテ)再開 ・仮設住宅の早期建設、期間延伸 ・防災倉庫の設置 ・震災時の便所 ・雇用対策(収入がない) ・失業保険・生活保護関連質問 ・夏休み時の補習事業開催 ・障害者の仮設住宅入居配慮	・小中学校の早期再建 ・仮設住宅の増強。 ・漁業の早期再開に向けた、港の復旧。 ・農地作付不可への対応 ・梅雨前の河川の瓦礫早期撤去。 ・建物自己再建のための仮設入居と再築補助の併用希望。 ・仮設住宅退去時期が心配。所有地は津波浸水。 ・被災酪農業の継続支援希望。	・漁業の早期復興 ・雇用対策 ・道路の渋滞解消 ・三陸鉄道の早期復旧 ・小中学校の早期復旧 ・地区を結ぶバスの早期復旧 ・光ファイバーの早期復旧 ・ゴミ焼却場の早期復旧 ・防災無線の早期復旧 ・瓦礫の早期撤去 ・既存コミュニティ重視の仮設住宅入居	・この地域で暮らしたい。仮設住宅早期建設。2年の条件延長。 ・漁港地盤沈下。漁船係留不可。 ・建築制限の罰則有無? ・瓦礫早期撤去。 ・現位置での家屋復旧に向けた早期線引き。 ・道路の早期復旧 ・岸壁、船揚場の早期復旧 ・石垣の崩壊も補修してもらいたい	・事業、住宅にかかる生活再建支援。 ・義援金早期分配。 ・消防倉庫早期復旧。 ・漁港早期復旧(生活再建のため) ・緊急雇用対策(瓦礫撤去作業等)の継続
復興街づくり等に関する意見	・具体的スピーディーな計画策定 ・太陽光発電等停電でも稼働できる施設 ・防潮堤の遡上高への嵩上げ ・住宅の高地移転促進 ・小・中学校の安全な地域への建設 ・高台への避難路整備(最低4m) ・建築規制に関する質問 ・簡易水道整備(水道復旧が遅い) ・防潮堤から大曾根まで盛土、高台公共施設建設	・移転先宅地造成の早期提示 ・三陸道の整備促進、アクセス路、IC設置 ・土地買い上げ希望 ・R45のう回路整備必要。 ・被災小・中学校の安全な地域への建設	・観光復興(バス駐車場、道の駅等の設置) ・危険区域の指定内容関連の質問 ・防潮堤不要では?(既設12mでも被災) ・道路の高台移転(連絡道路確保) ・住宅は高台に、低地は盛土。RC造アパートを	・高台移転希望 ・漁港も中心市街地同等に扱ってほしい。 ・土地買い上げどうなるか?	・危険区域の取扱い ・高台移転の取扱い、従前地取扱い等 ・湾口防波堤は漁協としては必要 ・宅盤高設定のため防潮堤の高の早期決定。 ・水没しない道路の整備

復興まちづくり懇談会意見骨子

	5月14日 平田地区	5月15日 嬉石町、松原町	5月15日 東部地区(中心市街地)	5月16日 箱崎白浜、根浜、室浜地区	5月17日 鶴住居・根浜地区
出席	市:市長以下 地元:町内会長、住民約80名 マスコミ:2社(FM岩手、所属不明)	市:市長以下 地元:町内会長、住民約110名 マスコミ:2社	市:市長以下 地元:地区会議長住民約300名 マスコミ:3社	市:市長以下 地元:町内会長、住民約110名 マスコミ:3社	市:市長以下 地元:、住民約110名 マスコミ:3社
市から	・5-6月粗々な復興ビジョン作成 ・8-9月復興計画策定、10月から実施 ・住民意見を踏まえ国県に要望出す。	・5-6月粗々な復興ビジョン作成 ・8-9月復興計画策定、10月から実施 ・住民意見を踏まえ国県に要望出す。	・5-6月粗々な復興ビジョン作成 ・8-9月復興計画策定、10月から実施 ・住民意見を踏まえ国県に要望出す。	・5-6月粗々な復興ビジョン作成 ・8-9月復興計画策定、10月から実施 ・住民意見を踏まえ国県に要望出す。	・5-6月粗々な復興ビジョン作成 ・8-9月復興計画策定、10月から実施 ・住民意見を踏まえ国県に要望出す。
復旧仮設等に関する意見	・仮設住宅既存コミュニティ維持。入居期間2年の延長。 ・児童のメンタルケア希望。 ・仮設住宅に物販設置希望。 ・支援物資配給の偏り是正 ・仮設住宅のペット飼育の悩み、ゴミ集積所の整備要望など	・避難所の情報不足是正。 ・仮設住宅の希望先融通	・瓦礫の早期撤去。 ・自宅近傍仮設住宅に入居希望。 ・近隣店舗被災のため移動販売等期待 ・養殖、漁業、加工業・市場早期復旧を。 ・仮設住宅入居後の生活支援希望	・居住地近傍の物販施設整備 ・漁業復興支援補助希望 ・仮設住宅期間の延伸希望 ・医療の早期充実希望 ・自宅無被災だが、接道なく仮設住宅希望	・仮設住宅期間延伸。 ・海水浴が観光資源。砂浜の復旧。 ・小中学校の早期復旧 ・浸水区域の建設可否 ・生活支援金の額少ない。期間短い ・障害者への仮設住宅優先 ・遺体確認状況、瓦礫撤去完了時期？
復興街づくり等に関する意見	・危険区域の線引きの考え方？ 県情報が確定後、危険区域の線引き検討。防波堤修復、地盤嵩上げ等で危険が解消すると解消。対象地は極限定的。 ・高台移転の整備主体？ 国・県に制度化を要求。6月に国、県ビジョンを出す ・市道、県道の高台移転。 三陸道5年内整備を県知事要望。大きい道路と林道等活用し災害時物流確保 ・次世代へ教訓継承。	・復興まちづくりのプランの早期提示。 ・災害に強いまちづくり如何 ・高台移転時の従前地取扱い如何。 ・高齢者住みやすく若者引留める施策必要 ・地場企業復活のための二重ローン解消施策 ・次回懇談会の市復興プラン提示希望 ・緊急時にも使える道路整備	・復興プラン提示遅い。早期提示 ・この地ですぐ再建希望。建築制限かけるな(かなり激高) ・仮設商店街(中小機構)の状況如何 ・危険区域の内容如何 ・復興事業概要早期提示希望。	・道路の抜本的な整備(高台移転) ・白浜は後背地の盛土 ・高地移転時の従前地取扱い ・人口流出抑制施策の早期実行。 ・危険区域の指定如何 ・造成による土地価格高騰懸念。	・早急の安全道路整備。 ・反省を踏まえた防潮堤整備。

復興まちづくり懇談会意見骨子

	5月17日 箱崎・桑ノ浜地区	5月18日 鶴住居・片岸	5月18日 両石地区		
出席	市:市長以下 地元:町内会長、住民約70名 マスコミ:1社	市:市長以下 地元:町内会長、住民約100名 マスコミ:3社(TVカメラ2台)	市:市長以下 地元:住民約150名、 マスコミ3社(TVカメラ2台)		
市から					
復旧・仮設等に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱崎の仮設住宅有無</li> <li>・道路・学校優先の整備(人口流出防止)</li> <li>・早急の港湾復旧</li> <li>・箱崎の仮設住宅の一部を桑ノ浜に(12戸)建設希望。</li> <li>・仮設住宅の早期増強(多層化)</li> <li>・避難所に風呂希望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の介護についてどうなるのか。</li> <li>・仮設住宅入居希望。夫が半身不随</li> <li>・近隣にスーパーなく、生活困難。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅。コミュニティ単位入居</li> <li>・仮設希望調査やり方悪い。</li> <li>・被災逃れたので仮設に入れない。わずか数軒だけ残り住める環境にない。</li> <li>・防波堤の反射波で壊滅の予測。湾口防波堤直すなら、両石防波堤を優先</li> </ul>		
復興街づくり等に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱崎の道路は台風や、高波で危険、安全な道路整備を。</li> <li>・高地移転は高齢者が大変。漁師は港近傍希望のため避難道路整備。</li> <li>・流された土地の取扱い如何。</li> <li>・弾丸道路のような避難道路を作ると、避難ビルを作るのが一番良い。</li> <li>・他地区に抜ける安全な道路や安全な漁港。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴住居を捨てられない。若い人は住まないといっているので今後の生活に不安。堤防を高くしてほしい。沿岸道路も浸水して危険。</li> <li>・企業用地(SMC)には嵩上げ容認し、個人の住宅再建はさせないまま。企業が嵩上げすれば、災害はそれ以外の土地に大きくなって降りかかる。企業優遇だけでなく、住民の生活も考えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化等の地域課題解決のチャンス</li> <li>・公営の住宅、利便施設セットで提供</li> <li>・子育て支援機能も欲しい。</li> <li>・津波に強いまちづくり研究施設など設置してはどうか。</li> <li>・風量発電で電力確保し防災機能確保</li> <li>・橋野高炉世界遺産登録を応援したい。歴史的な意義がある地域、復興の象徴。</li> <li>・高齢化から住居再建難しい。アパート化が適すると考える</li> <li>・まず防波堤が必要、次に高台に住居。集合住宅も必要。</li> <li>・国道45 嵩上げ堤防にしてもらいたい。</li> <li>・水門閉鎖で被災。人命守る水門考えて</li> <li>・両石は切り盛りの効率よい。両石を100年経っても誇れるモデルに</li> </ul>		